

# 排水ポンプ車設置訓練を実施

～地域住民など約40人が参加～

4月27日(金)天童市蔵増地区にある樽川排水樋門において、排水ポンプ車の設置訓練を行いました。

この訓練は、この地域に住む皆様の要望により天童市からの要請を受けて実施したものです。この地域では治水に関する意識が非常に高く、近年の各地で発生している異常気象による洪水被害が自分たちの地域を襲ったときにどの様な対策が考えられるかを議論する中でその一つとして国土交通省所有の排水ポンプ車の存在を知り、一度実施する状況を見たいと思うようになったそうです。



訓練の説明の様子

これを受け、出張所では例年出水前に実施する訓練をこの場所で行うこととし地域の皆様にお声がけをしたところ、蔵増地区水害を考える会(会長:結城助一氏)をはじめ自治体関係者など約40人の参加がありました。

当日の訓練の様子を紹介します。



ポンプ車の荷台からポンプ・ホース・発電機をクレーンで吊り上げ、設営作業中



設置完了



撤収作業の様子

訓練では、ポンプ車及びクレーンの設置場所の確認から始まり、ホースの設置～ポンプの投入～撤収まで一連の作業をご覧頂きながらご意見をいただきました。

—いただいた主な意見—

- (設置に) 思ったよりも時間がかかる  
→ 設置から排水開始まで30分程度であり、これでも早いほうです。
- このポンプ車が他のところで先に作業していて個々に呼べなかったら？  
→ 必要に応じて他県に配置されているものを応援要請する場合があります。
- 地域住民でこの作業をさせてもらうことは？  
→ 当出張所が委託している業者が作業することが基本です。



訓練に使用した排水ポンプ車  
(60m<sup>3</sup>/min水中モータ式)

今回使用したポンプ車は、寒河江出張所で所有する、排水能力60m<sup>3</sup>/minのもので、学校のプールを約5分で空にすることができます。他にもう1台45m<sup>3</sup>/minもありますが、現在、銅山川(新庄管内)の地滑り現場からの応援要請に応じて派遣中です。

排水ポンプ車は全国の整備局で所有しており、昨年の東日本大震災では、津波で浸水した市街地などの排水に各地から派遣され早期復旧に力を発揮したほか、タイの洪水にも10台派遣し活躍しました。

5月27日に南陽市で開催される水防演習会場にも展示されますのでぜひご覧ください。

山形河川国道事務所 寒河江出張所  
TEL:0237-86-3069  
FAX:0237-86-6206

